

# 第1学年 算数科学習指導案

児童 2組 男子12名 女子10名 計22名  
授業者 高橋圭子

## 1 単元名 ひきざん（東京書籍 1年）

### 2 単元について

#### (1) 教材について

本単元は、学習指導要領第1学年の内容A数と計算（2）を受け、「11～18 から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それをを用いることができるようにする。」ことをねらっている。

減法計算は、これまでに1位数－1位数や  $13-3$ 、 $15-3$  などの計算で繰り下がりのない場合を扱ってきた。また、先の単元「たしざん」では繰り上がりのある加法を学習したが、本単元ではその逆の減法を学習する。繰り下がりのある計算は初出であり、次学年以降の減法の筆算の基礎となるものである。10のまとまりに着目することで繰り下がりのある減法計算ができることを理解させたい。

#### (2) 子どもたちについて

計算問題にはりきって取り組む子どもたちである。繰り上がりや繰り下がりのない計算についても速く確実に取り組めるようになってきた。しかし、数の概念において個人差があり、数の合成や分解がスムーズにできず、繰り下がりのあるひき算にも抵抗を示す子どもがいると予想される。また、新しい考え方を理解できずに、被減数が大きくなっても数えながらひく子どももいるのではないかと思われる。そこで、友達同士を関わらせながら、問題を解いたり分からない所を出し合ったりして、ねらいに迫っていきたい。

#### (3) 指導にあたって

本単元では、10のまとまりを意識させ、10のまとまりから減数をひくことを理解させていきたい。そのために、算数ブロックを用いた活動を取り入れ、操作しながら言葉で説明できるようにさせていく。今後の学習の基礎となる重要な内容である。単元学習後の継続的な指導も通して習熟を図っていききたい。

### 3 単元の目標

11～18 から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それをを用いることができるようにする。

【関心・意欲・態度】既習の減法計算や数の構成を基に、11～18 から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考えようとしている。

【数学的な考え方】11～18 から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて表現したり工夫したりすることができる。

【技能】11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が確実にできる。

【知識・理解】10のまとまりに着目することで、11～18 から1位数をひく繰り下がりのある減法計算ができることを理解する。

### 4 単元の指導計画（12時間）

- $13-9$ の計算の仕方（減加法）を考えると 減数が9の場合の計算の仕方（減加法）（2）
- 減数が8の場合の計算の仕方（減加法）（1）
- 減数が9、8の場合の計算練習（1）
- 減数が7の場合の計算の仕方（減加法）と練習（1）本時
- $12-3$ の計算の仕方（減々法）を考えると（1）
- 11～18から1位数をひく繰り下がりのある計算の練習、文章題の解決（1）
- 計算カードを用いた減法計算の練習（5）

5 本時の指導 (5/12)

(1) 目標

前時までの学習をふまえ、11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算で、被減数を分解して計算する方法 (減加法) の理解を確実にする。

(2) 指導の構想

12-7 の計算の仕方を 10 のまとまりに着目した方法で話すことを共有の課題とする。次に、減数が 7、6、5 の計算を個人で行い、全体でブロック操作と対応させながら、わからなかった点を取り上げていきたい。そして、ジャンプの課題で、ペアや周りの友達と考えながら問題を解き、10 のまとまりを意識した考え方にさらに迫っていきたい。

(3) 展開

学習内容	指導上の留意点 (・支援 ○評価)
1. 共有の課題を把握する。	
<div data-bbox="400 741 1321 819" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     12-7 のけいさんのしかたをかんがえよう。                 </div> 2. 計算問題に取り組む。 ① $11 - 7$ ② $13 - 6$ ③ $12 - 5$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を活かして、10 のまとまりを意識しながら説明させる。</li> <li>・個人で考えた後、全体で学び合う。</li>   <li>・減数が 7、6、5 の繰り下がりのある計算に取り組ませる。</li> <li>・個人で取り組むが、分からないところは周りの友達に相談させる。</li> <li>・ブロック操作と対応させながら、全体で確認する。</li> <li>・分からなかった点があれば、取り上げる。</li>   <li>○減数が 7～5 の場合でも、10 のまとまりから 1 位数をひけばよいことを理解している。 (知識・理解)</li> </ul>
3. ジャンプの問題を把握する。	
<div data-bbox="400 1480 1321 1559" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     □にはいるすうじはなんだろう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 から減数をひいた数の欄を設け、それについて推理させる。</li> <li>・分からない児童が多いと予想される。他のペアの考えを参考にさせたり、全体で話し合ったりしながら取り組ませたい。</li> <li>・ペアで学び合った後、全体で確認する。</li> <li>・10 の補数がわかれば、計算が簡単になることを確認する。</li> </ul>